

第6回トラック輸送における取引環境・労働時間改善富山県地方協議会 議事概要

1. 日時

平成29年6月9日（金） 13時30分～

2. 場所

富山県トラック会館

3. 委員

千々岩 力	高岡法科大学 大学長
新庄 幹夫（欠席）	富山県商工会議所連合会 常任理事・事務局長
佐藤 登（欠席）	一般社団法人富山県経営者協会 専務理事
増川 茂則	富山県中小企業団体中央会 専務理事
梶原 真美（欠席）	富山県消費者協会 事務局長
林 清淳	株式会社不二越 営業管理部物流管理センター長
西田 真一（欠席）	YKKAP株式会社 生産本部ロジスティクス推進部供給企画室長
奥田 晃史	三協立山株式会社 三協アルミ社事業統括部事業管理課副参事
秋永 吉男	中越パルプ工業株式会社 経営管理本部管理部副部長
小森 誠一	テイカ製薬株式会社 取締役購買物流本部長
小杉 紘平	一般社団法人富山県トラック協会 副会長（魚津運輸(株) 取締役会長）
勝山 功	一般社団法人富山県トラック協会 副会長（三和運輸(株) 取締役相談役）
荒木 一義	株式会社荒木運輸 代表取締役社長
稲土 英博	一般社団法人富山県トラック協会 専務理事
高柳 幸司	全日本運輸産業労働組合富山県連合会 執行委員長
山崎 英生	厚生労働省富山労働局長（代理 細江 裕行 労働基準部長）
江角 直樹	国土交通省北陸信越運輸局長（代理 林 伸治 自動車交通部長）

【オブザーバー】

榎本 雅士	日産化学工業株式会社 富山工場総務部管理課長
末岡 浩幸	日産物流株式会社 富山支店業務三課長

4. 概要

議題

- (1) 平成28年度の富山県のパイロット事業の報告及び全国を取組概要について
- (2) 平成29年のパイロット事業について
- (3) 時間外労働の上限規制について
- (4) トラック輸送に係る取引条件改善に向けた取組について
- (5) その他

主な意見等

- (1) 平成28年度の富山県のパイロット事業の報告及び全国の取組概要について
- ・ 当社の場合、繁忙期等にトラックの確保が出来ないことにより、出荷できず販売活動の足を引っ張ることを避けるため、集まったトラックには全て荷物を積んでどこかへ運んでもらうよう、考え方等を変えた。その中で荷待ち時間の短縮などに取り組んでいる。【荷主】
 - ・ 47都道府県で行っているパイロット事業を見ると、同じグループ内での改善の取組が多い、荷主の協力がないと進まないのはわかるが、本当に声も出せない一般的な運送会社に汎用性のあるもの、インパクトのある取り組みにすべき。【経済団体】
- (2) 平成29年度のパイロット事業について
- ・ 今年度のパイロット事業では化学工業品の運送を扱うことになるが、劇毒物、爆発性のある危険品、肥料など種類があり、いろんな運送の仕方があると思う。これらを一括してやっていくのか、どれかに絞るのか、コンサルタントも加えて十分に協議して進めて欲しい。【トラック事業者】
- (3) 時間外労働の上限規制について
- ・ これだけ人手不足、他より労働時間が長いこの業界こそ、短くしないといけない。それが上限規制の適用除外、5年猶予があって年960時間となるのは遺憾。働き方改革が進めば、一般産業の労働者の倍近く働くことにもなりかねない。5年以内に見直し出来るよう取り組むべき。【労働組合】
 - ・ 今、宅配便の問題が話題になり、運送会社はどこも大変と思われている。5年先というのは、世の中のイメージとして遅すぎる。【経済団体】
- (5) その他
- ・ 運送事業の経費の50%は人件費で、人を集めるため賃金を上げる、労働時間を縮減しようとする必要があり、賃金を3~5割上げる必要があり、運賃を25%~30%位上げる必要がある。一般的に運賃の比率（コストに占める）が10%と言われている中で、国民の皆さんが納得して負担していただけるかが問題となってくる。【トラック事業者】